



平成 20 年 8 月 18 日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 健 司
(コード番号：6269)
問合せ先 経営企画室長 高野 育 浩
電話番号 03-6203-0200 (代表)

中間期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2月21日に公表した平成20年12月中間期(平成20年1月1日～平成20年6月30日)の連結及び単体業績予想を下記のとおりに修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当中間期の業績予想の修正(平成20年1月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結業績予想：

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間期利益
前回発表予想(A)	60,000	2,200	2,800	2,000
今回修正予想(B)	64,000	1,600	2,700	1,400
増減額(B-A)	4,000	△600	△100	△600
増減率(%)	6.7	△27.3	△3.6	△30.0

(2) 単体業績予想：

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間期利益
前回発表予想(A)	23,000	1,900	1,700	1,000
今回修正予想(B)	15,000	1,050	1,650	950
増減額(B-A)	△8,000	△850	△50	△50
増減率(%)	△34.8	△44.7	△2.9	△5.0

(注) なお、本年度通期の連結及び単体の業績予想数値は、2月21日に公表した予想数値と変更はありません。

2. 修正の理由

当中間連結会計期間の売上高につきましては、連結売上高が当初予想を4,000百万円上回る64,000百万円となる一方、単体売上高につきましては、当初予想を8,000百万円下回る15,000百万円となる見込みです。これは、当社グループのリソースをブラジル向け等の大型FPSO建造工事へ重点的に振り向け、工事進行基準による建造売上高を海外子会社で計上したことなどによるものです。

利益面につきましては、単体売上高が当初見込みを下回ったことにより、単体営業利益が当初予想を850百万円下回る1,050百万円に止まる見込みです。なお、単体経常利益および単体中間純利益につきましては、関連会社より配当を受け取ったこと等により、それぞれ当初予想を50百万円程度下回るものの、ほぼ予想通りと見込んでおります。

連結利益につきましては、利益を将来に繰り延べて実現させる関連会社向けの建造工事に関わる未実現利益の影響、および海外子会社がオペレーション・サービスに関わる費用を売上に先行して計上したこと等により、連結営業利益が当初予想を600百万円下回る1,600百万円となる見込みです。連結経常利益につきましては当初予想を100百万円下回る2,700百万円を見込んでおりますが、連結中間純利益は、連結子会社の収益が好調だったことにより少数株主利益が拡大することから、当初予想を600百万円下回る1,400百万円に止まる見込みです。

通期の業績予想につきましては、今後の工事の進捗、今後受注するプロジェクトの内容、および円貨換算を行うための期末日の為替レートなど不確定な要素が多いことから、連結、単体業績ともに現時点での変更は行っておりません。

以 上